

◆2010年第2回研究発表大会(9/25)の報告とお礼

(第2回研究発表大会委員長 植木 英雄)

日本ナレッジ・マネジメント学会の「2010年第2回研究発表大会」は東京経済大学で9/25日(土曜日午後1時-6:40分)成功裏に開催されました。

今大会では「先進企業における知の創造と経営革新」を共通テーマにして、8本の研究発表と全体討論が活発に行われ非常に有意義な大会となりました。

大会会場の準備等をして頂きました東京経済大学の関係者はじめ大会の開催を支援して頂きました当学会本部役員・事務局、司会者、発表者および参加者の全ての皆さんにご協力を感謝いたします。

今大会は、当学会員以外に異文化経営学会やグローバルマーケティング研究会等でもプログラムがメルマガで紹介され、地域の市民や学生の参加もオープンにしましたので、関東以外からも九州、関西、北陸、東北地方からの一般参加者を加えて延べ100名近くの参加者がありました。

また、今回初めての試みで、8本の事例研究発表に引き続き、発表者と参加者の全体討論の場をシンポジウム形式で企画し、発表者と参加者の間で充実した質疑討論を行うことができました。

この全体討論の論点とし司会者から次の二つを挙げて、発表者と参加者の皆さんに個別の事例研究と共通テーマの接点を事前に提示させて頂き、参加者一同で一緒に考える機会を準備いたしました。

1. 知の創造を促進するマネジメント・モデルとイネーブラー要素の関連性について

★知の創造と各要素の関連性の程度は？(強、中、弱)

★各要素間の関係シナジーとは？(各要素と経営理念・文化や場の関連性)

2. 共通テーマの「経営革新」を促進する知の創造とは？

★環境変化への革新的適応能力の構築と仕組み(変革能力)

★ビジョン・戦略を構想するリーダーの役割

全体討論の場では、各発表者からこの二つの論点についてコメントをして頂くと同時に、参加者の皆さんからの質問も交えて討論して頂き、「知の創造と経営革新」という時宜を得たテーマに対する協創的な知見を共有して頂けたのではないかと思います。

なお、この研究成果は来年度に知の創造研究部会の事例研究と一緒にまとめて上梓したいと考えております。以上、第2回研究発表大会の概略報告とさせて頂き戴きます。

最後に、このような内外に開かれた当学会の研究発表大会が来年度以降の開催においてもさらに深化して、学会および会員諸氏のさらなる研究発展や社会貢献に繋がっていくことを願っております。

◆大会の様子

(写真：松本 優)



(東京経済大学国分寺キャンパス)



(森田 松太郎理事長開会の挨拶)



(植木英雄大会委員長の大会進行説明)



(発表 1 新藤 尚武氏)



(発表 2 齋藤 稔氏)



(発表 3 矢澤 洋一氏)



(発表 4 土屋 勉男氏)



(発表 5 進 博夫氏)



(発表 6 安部 博文氏)



(発表 7 荒木 聖史氏)



(発表 8 高山 千弘氏)



(参加者約 100 名)



(発表者全員と司会者植木英雄氏+会場の皆様による シンポジウムスタイルの全体討論・総括)

●研究大会の写真付き詳細レポートは別途こちらをごらんください。

<http://www.kmsj.org/archive/20100925photo.pdf>

尚発表要旨集も会員専用頁に掲載されていますので合わせてご利用下さい。

<http://www.kmsj.org/member/conf/20100925.pdf>